

第 3 回町田市庁舎跡地等検討委員会議事要旨

日 時	2011年02月24日 18:00~20:00	場 所	森野分庁舎 4階 第二会議室・第三会議室
出席者	<p>【委員長】中井委員 【副委員長】柳沢委員</p> <p>【委員】中里委員、盛永委員、土方委員、鈴木委員、池田委員、三ノ輪委員</p> <p>【事務局】倉田政策経営部長 企画政策課：市川課長、岡田課長補佐、井上統括係長、石川主任、平野主任、藤田主事</p> <p>【関係部署】管 財 課：市村課長、塩田課長補佐 産業観光課：池ノ内担当課長、伊奈主査、地寄主任</p> <p>【パシフィックコンサルタンツ㈱】坂口、岩田、山口</p> <p>【傍聴】10名</p>		

1. 開会

倉田政策経営部長より開会の挨拶があった。

- 本日で3回目となり、市民アンケート調査の結果とこれまでの議論を踏まえて、森野・中町地区のまちづくりの課題と庁舎跡地等の活用の方向性についてご議論いただきたい。

2. 第2回町田市庁舎跡地等検討委員会議事要旨の確認

第2回町田市庁舎跡地等検討委員会議事要旨について、資料1に基づき、事務局から説明。

第2回町田市庁舎跡地等検討委員会議事要旨を確定した。

第2回委員会の傍聴者意見について、参考資料1に基づき事務局から説明。

中町中央町内会によるアンケート結果について、中町中央町内会長から報告。

3. 市民アンケート調査の結果について

市民アンケート調査の結果について、資料2に基づきコンサルから説明。

○ 意見等

- 委員：アンケートでは、子どもや高齢者のための施設への期待が多い印象だったが、この地区にとって本当に必要な施設か確かめる必要がある。ただ、町田地区には子どもセンターがないため、子どもセンターができると良いと思われる。

4. まちづくりの課題と活用の方向性について

○ 意見等

- 委員：理念や方向性を決めるには、子ども施設や公園等、アンケートで期待が高かった施設の配置や必要性などの現状について、客観的に把握できる資料を提供していただきたい。
- 委員：町田駅には駅前広場がないので、将来的な駅前広場整備のための代替地として確保することも考えられる。また、消防署や税務署、郵便局などの公共施設の建て替えに活用できないか。箱物は、建設費のほかに維持管理費が継続的に発生することから、建設すればいいというものではない。

- 委員：活用の方向性を決めるには、基本的理念が判断基準となるため重要である。資料2の5ページ目に記載された基本的理念（案）には、「新たな賑わいの創出」とあり、上位計画にあたる中心市街地活性化基本方針では、現庁舎周辺を「にぎわい拠点ゾーン」と位置づけている。その双方に共通する「賑わい」を実現するには、単なる高齢者入所施設ではなく、生涯学習施設の中で高齢者も子どもも集えるような機能があればよい。
- 委員：アンケートの回答者は、高齢者の方の回答率が高くなっているもので、若い世代の人たちのニーズや課題を探ることが必要と思われる。また、上位計画に位置づけのある「賑わい拠点ゾーン」を前提にすべきである。市民ホールについては、町田の人口規模に対して席数が不足している。稼働率は90%超であり、市民のニーズもあると思われることから、現状に至った背景が確認できる詳細な資料を踏まえて、市民ホールについて見直す必要がある。
- 委員：庁舎跡地等には、敷地規模から市民ホールと同規模の施設の設置は難しく思われるが、現状の容積率等の見直しも含めて検討しても良いのか。容積率を増加することができれば、アンケートの設問にある期待される施設の全てを実現できると思う。
 - 事務局：容積率の変更などの都市計画の見直しには時間を要するため、あくまで現況の敷地や規制の中で、どう活用するのかをご検討いただきたい。
 - ⇒委員長：基本的には、現況の都市計画に基づいて検討することとする。
- 委員：第2回委員会の副市長の挨拶の中で、市の財政は厳しい状況にあり、施設建設をすぐに実行することは難しいとのことだったが、将来的に市民にとって必要なものの整備を検討すべきである。経済情勢が良くない時勢の中で、PFI事業による整備の施設規模や費用等を例示してもらいたい。また、町田駅周辺には映画館がないが、市民ホールが映像関連にも活用できると良い。
 - 事務局：基本的には、必要な機能について議論いただくことを考えている。
- 委員：市民ホールの建て替えについては、市としての計画があるのか。原町田三丁目に市がホールを計画していると聞いた。
 - 事務局：町田・相模原業務核都市基本構想の中で、1,500席程度のコンベンションホールの整備が挙げられているが、原町田三丁目で具体的な地権者交渉等を行っているわけではない。
 - ⇒委員長：大きいホールが1つあるのが良いのか、小さなホールが数箇所にある方が良いのか、市の政策的な考え方を提示すること。
- 委員：現在と同程度の人の流れが庁舎跡地等にあることが望ましく、老若男女、人が集えるような施設が良い。
- 副委員長：中町第三庁舎跡地へのバスターミナルの導入により、周辺の交通事情がどのように改善されるのか提示してもらいたい。
 - 事務局：中町第三庁舎跡地にバスターミナルを導入し、北側に整備予定の都市計画道路からバスが入ることにより、本庁舎跡地から小田急線の踏切までの幅員の狭い道路における歩行者動線の環境が改善される可能性がある。
 - 副委員長：説得力を持たせるためには、施設の必要性を明確にする必要があり、中心市街地全体のまちづくりの方向性に沿って庁舎跡地等を活用するというストーリーが必要である。

→委員：本庁舎跡地、中町第三庁舎跡地、さるびあ図書館それぞれの役割分担を決めて議論する必要がある。また、中町第三庁舎の建物を活用して生涯学習などの暫定利用をし、事業が軌道に乗った時点でそのための建物を建てることも考えられる。

● 委員長：基本的理念については、ダイナミックに人々が行き交うような、「賑わい」や「交流」の空間という認識を共有していることが確認できたので、そのイメージを表現する具体的な文言については委員長と事務局で調整する。また、活用の方向性については、引き続き検討を行う。

● 副委員長：「せんだいメディアテーク」のように、利用者が自発的に活動できるような場所も良いのではないか。

→委員長：子ども関連施設にも様々な施設があるため、市の担当部署での施設配置の考え方、市民団体の活動動向等の情報を収集すること。

→副委員長：施設を作る過程で人を巻き込めるような施設を例示してもらいたい。

→委員長：最近の良い事例を収集し、周辺の人を巻き込めるものができるとうい。

→委員：幼児から青少年、専門学校生までを含めて、全ての世代の子どもが交流し、活躍できる場があれば、周辺の活性化につながると思う。

→委員：「賑わい」は理解したが、文言としては「マルシェ」など、リアルさがありシンボリックな言葉が良い。

⇒委員長：魅力的な場所とするには、ハード面だけではなく、ソフト面が重要となる。施設を作る過程で周辺住民を巻き込めるようなプロセスが望ましい。

5. その他

第4回町田市庁舎跡地等検討委員会を5月30日の18:00～20:00で開催することを確認した。

6. 閉会

倉田政策経営部長より閉会の挨拶があった。

以上